

## 【解説】

「つきあい」は仕事の重要な部分です。日本の会社は共同体きょうたいたいでそこに勤める社員は協力し合って仕事をしなければなりません。上司、同僚とは仕事はもちろん、飲むときも遊ぶときも一緒にいるのが日本の会社です。日本人は仕事の延長へんちやうとして会社の人と酒を飲みます。酒を飲んだり、カラオケで歌ったりすることにより、仕事のストレスを解消かいしょうしたり、互たがひいのコミュニケーションを深めたりするのです。それにより人間関係がスムーズになれば結果的には会社により影響をもたすということが日本の考え方です。つきあいを断る場合も「ありがたいとございます。残念ですが、今日は都合が悪いので、いずれまたそのうちに…」と遠まわしに断る方が誘った方も気を悪くしないで済みます。林さんのように断ってばかりいないでときには徹底的てつていてきにつきあったり、本音ほんねで語り合うことも必要でしょう。また、どうしても途中で席を立たなければならぬようなときは、その場の雰囲気ふんいきを壊こわさないような気配りも忘れないでください。

練習 誘った人の気分を害さないように丁寧に断るにはどう言えばいいでしょうか。

部分は、自分で考えてみてください。

<例>「今回は断るけれども、この次行くときはぜひ一緒に行きたい」という気

持ちを相手に伝えて断るときの言い方

→ せっかくのお誘いですが、今日は用事があるので失礼します。また次の機

会にご一緒させていただきます。

①「今度は私がよく知っている安くておいしい店に案内します」

②「また今度行くときに連れて行ってください」

③「いつもお世話になってお礼に、次の給料日には今度は私がごちそうしたいです」

## 【豆知識】

## 「フリカン」

上司や同僚、先輩に誘われて飲みに行っても、3回に1回ぐらいは「割り勘わりかん」にしたほうがいいですね。お互いに安い給料でやり繰りしているのは同じですし、いつも誘った人、年上の人、男性ばかりがお金を払うのはかわいそうです。たまには「今日は割り勘にさせていただきます」と言ってみましょう。

## 【ユニットII】 冠婚葬祭

営業2課の田村さんが結婚するので、営業部内でもお祝いをするという回覧かいらんが回ってきてました。林さんがそれを読んでみるところへ、同僚の横山さんがお祝い金を集めに来ました。

横山：林さん、田村さんの件なんですけど回覧、読みましたか。

林：ええ、今読みましたけど、僕は田村さんのことはよく知らないし…どうしても参加しなくちゃいけませんか。

横山：ええ。今でも部内の人結婚したり、不幸があったときは、みんなで少しずつ出しているんですよ。

林：でも、そういうのは、上司だけでいいんじゃないですか。僕は田村さんより先輩だし、お祝いするのなら、それぞれ別に、したい人だけすればいいじゃないですか。

横山：ええ、でも……（困った表情）



すつきりする

林さんはみんなと同じように参加しましたが、何となく気持ちがすつきりしました。あなただったら、どうしますか。